

R 2016 社会福祉法人 光友会 RECRUIT GUIDE



all the time
いつでも



to anyone
だれにも



Challenge
with a smile
笑顔でチャレンジ



自分の居場所

「もともと福祉系の大学ではなかったのですが、ボランティア活動がこの仕事をやってみようって決めたきっかけです。今は、自分に合ってる仕事だなんて感じますね。」

大橋さんは、『いそご地域活動ホームいぶき』のスタッフとして5年目を迎えます。ボランティア活動をしているときから変わらないという、仕事の魅力についてお話してくれました。

「実は、ボランティアをしていたのも光友会の施設だったんです。ここではなくて、就労活動を支援するところだったんですが、そこでは、利用者さんと職員が一緒になって清掃や軽作業の仕事をしました。皆さん、ボランティアの自分をとても歓迎してくれて、すぐに打ち解



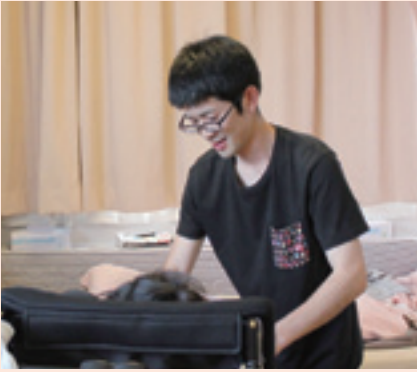
けることが出来ました。その時、なんとなく、自分の居場所があるような気がしましたね。」これは、今でも言える事なんですけど、福祉の職場って、「どんな人でも、ここに居て良いんだよ」っていう温かさを感じますね。

ボランティアから仕事へと、やりがい、さらに深まっていきます。「毎日、同じことの繰り返しのように、実は全然違う。全然、決まった通りにいかないんです。人と向き合う仕事ってそういうところが楽しいんじゃないかなって思うんです。」利用者さんと接する時の仕草や表情から誠実に仕事と向き合う様子が伝わってきます。

大橋さんは今年、4年間担当してきたグループを離れ、障害のあるお子さんの放課後活動を支援する活動を担当することになりました。「今までと違って、毎日顔ぶれが違うので、最初は戸惑いのほうが大きかったですね。でも、職場の人たちが、何気なく声をかけてくれる

です。一人じゃないんだなって、...。力になりますね。」

そんな大橋さんの今の目標について何うと「介護福祉士を取得したので次は社会福祉士の試験に合格する事です。学がことが好きで、勉強も苦にならなです！」なんとも頼もしい限りです。



一緒に向かっていくこと

引地川沿いにある『太陽の家 藤の実学園』。海や緑いっぱいの公園など散歩コースに最適な場所にあります。藤の実学園は、知的に障害のある成人の方の日中活動の場。そして、ゆっくりと流れる時間の中、利用者一人一人に声をかける凜とした女性が、福田さんです。



福田さんは藤沢つ子。社会福祉学部で勉強していた頃から、積極的に市のボランティアに参加していました。卒業前に市の職員さんから勧められたのが光友会。それから今までずっと光友会で働いています。

福田さんはこれまで、就労活動の支援をするライフ湘南での経験を経て、より重度の方の通園施設である藤の実学園へ。「それなりに戸惑いはありましたが、利用者さんが毎日楽しみにして来てくださるから支援を続けられます。それってすべての職場で共通しているんだなってふり返ることが出来ます。」と、笑顔で応えてくれました。

光友会と出会って13回目の春。積み重ねてきた年月を感じます。「ここでの活動は、きちんとした集団生活と、一人一人のために用意したプログラム。本当に些細なことの積み重ねなんですけどね。積み重ねの先には友達を作るとか、必ず目標があるんです。それ

と一緒に向かっていくことにやりがいを感じています。」

“地道にコツコツ”をモットーにしているとお話されますが、時には冒険もしてみたいと考えている様子です。「不安定になりやすく、お部屋の中で過ごす事が多い方々を担当しているのですが、先日、思い切って地域のカフェにランチをしに行きました。外ではちょっぴりドキドキしながら…。なんとか外出できました！この時はお互いに達成感がありましたね。」

今は、現場のリーダーとして活躍されている福田さんから、これから入ってくる職員へのアドバイスは、「とにかく明るく、元気、あいさつ！」とのこと。当たり前のことの大切さ、改めて感じさせられます。

今後の目標について伺いました。「就労支援、生活支援と経験することが出来ました。今後は、この経験を活かして相談支援などにも挑戦していきたいと思ってます!!」

決めつけない

日当たりのいい厨房で、パリッと白い割烹着を着た男女が、黙々と作業を続けています。その中で、一人一人に穏やかに声をかけているのが北村さん。『ライフ湘南』は、障害を持った方たちのための就労支援の場。北村さんの仕事は、製麺室で働く利用者さんたちを支援することです。

「製麺室の担当になったのは約6年前。いきなり僕が職員として入って来たんですけど、利用者さんたちは動揺せず、以前と同じようにうどんを作り続けていて… 驚きました。この製麺室を動かしているのは、本当に利用者さんたちなんだって。」福祉との出会いは、大学卒業後に英語が好きで行ったイギリス留学で、障害を持つ方の日常生活支援のアルバイトをしたこと。『福祉って大変な仕事だと思っていたのですが、自分にもできた、というのが

自信になりました。帰国する時に泣いて別れを惜しんでくれる方がいたり… なんだかすごく心が動いたんですね。それが僕のルーツでした。」

そんな北村さんのモットーは、“決めつけない”こと。うどん作りは、計量があったり、複雑な手順があったり、かなり難しい仕事なんです。今働いている利用者さんの中に、数字が10まで数えられない方がいます。それでも計量ができないとは決めつけない。数字を記号として捉えて視覚情報に置き換えたところ、理解することができるようになりました。「先に諦めてしまうのは、いつも職員なんです。そうならないように、考え方を柔軟にして、皆さんの可能性を引き出していくのが、我々の腕のmiseどころですね。」

「お話して伝わらないことは一つもないと思います。」利用者さんに、うどんを食べる人の気持ちを想像できるように指導することで、

納得して次からさらに良い仕事をしてくださるんです。本当によく話を聞いてくださって…。響いていることを、ありがたく思っています。「毎日毎日、丁寧に同じ品質で作り続けられる利用者さんは、うどん作りの天才ですね。」北村さんの眼差しには、リスペクトが溢れていました。



職員の声 「私たちの仕事」

受ける側の望む介護だって十人十色

「ここにいると、とにかく楽しい！面白い！皆さんと話をしていて、全然知らなかったことを教えてもらえます。」

基本キリリと、時折いたずらそうに笑うパワフルな女性。そんな介護スタッフの武藤さん利用者様と過ごす時間のワクワクが、このパワフル感につながっているようです。仕事にかなりハマっている様子の武藤さんがここで働き始めたきっかけはというと、

「祖母が事故にあって、障害が残ってしまったことですかね。それもちろんですが、転職しようと思ったとき、どこを見ても介護の求人ばかり。本当に人が足りていないんだな、と思いました。そして、介護のスキルをつければ、この先も長く続けて自分のライフワークにしていけるんじゃないかと。絶対に食いつぶれないですし！（笑）」

わりと最近出会った介護の世界ですが、利用者さんと触れあう日々を重ねるうちに、障害について深く考える時間が増えていきました。「ここには本当に色々な方がいらして。例えばざっくりですけど、もともと障害がある方と、うちの祖母のように途中から障害を持つようになった方。それぞれ、今までの歴史があり、私が思いもしなかった色々なことを考えてきたんだろうな、と思いを巡らせています。」

そんな中培われてきた、武藤さんのモットーがあります。「私は、障害があるからといって、腫れ物を触るようにちやほやする介護には反対なんです。」人の道に外れることに対しては、きちんと厳しい言葉をかけます。自分と同等の人間として日々接するところから、差別をなくしていきたいと思うんです。

「介護観は人それぞれ。受ける側の望む介護だって十人十色。これは永遠のテーマだとわかっています。それでも私なりの考えというのは大切にしながら仕事をしていきたいですね。」



守ってくれているんだなっていう雰囲気

すらっとしたシルエットで、スマートに仕事をこなす物静かそうな印象の杉崎さんは、若手の介護職員として、ショートステイのフロアを担当しています。穏やかな口調で仕事のやりがいをお話してくれました。

「入職して3か月間は、不安の方が大きかつ



仕事なんじゃないかなって思います。続けて、こんなエピソードもお話ししてくれました。「実は、入職して間もない頃、大きな失敗をしてしまって。辛い事故には至らなかったのですが、自分としては、ああ失敗してしまったなって、凹んでたんですね。その時、当時の上司や周囲の先輩職員方がとても心配してくれて、声をかけてくれたり人によっては、映画に誘ってもらったりと、正直そこまでしてもらわなくても感じるくらい皆さんか

ら気にかけてもらいました（笑）。」

「でも、守ってくれているんだなっていう雰囲気が伝わってきて、とても有り難かったですね。ローテーション勤務は、コミュニケーションがとりづらくて悩みを抱えやすい部分があると思うのですが、職場では、普段から何気ない会話の大切さを皆よく理解していて、一人で悩まないようにしようっていう雰囲気がありますね。」

杉崎さんにはゲーマーというもう一つの顔があります。オンラインゲームで世界で30位のランキングに上がったことがあるほどの腕前です。

「休日は、仕事のことは一切忘れて、趣味に没頭します。で十分にリフレッシュできるからまた仕事も頑張ろうっていう気持ちになります。」

今の目標は、介護福祉士の資格取得。スキルアップに向けて頑張ってます。

人生で一番初めの出会いって考えると責任重大

夏の太陽に負けないくらい明るくて元気いっぱいの子どもたちに囲まれながら一人一人と目を合わせて笑顔で接している女性がいいます。石原さんは、障害を持った就学前のお子様のための保育施設『しいの実学園』で保育士として働いています。

「ここで働きたいって思ったのは、先輩が就職していて色々話を聞いたことがきっかけでした。」保育の仕事って子どもたちにとって、ある意味人生で一番初めの出会いって考えると責任重大。だからこそ、自分が自分でいられることを大切にしたいなって、きちんと休みも取れるからこそ目いっぱい頑張れるっていう…そんな自分の希望にあった職場だって思ったんです。「実際に仕事してみると、単純に楽しいうっただけでは言えなくて難しいんですけど…」でもこの仕事は楽しいうって聞かれたら

「楽しいよ!!」って答えます。子どもたちと一緒に泥んこになって、はしゃいだりすることって、シンプルだけど楽しいです。あとは、自分なりに子どもたちとの関わり方を考えて試してみることにもやりがいを感じています。「試行錯誤なんですけど… 成果とプロセス、両方ですね。」

子どもとの関わりが上手いくなると不安な時もありますが、先輩たちが話を聞いてくれて「よし、やってみよう!」って背中を押してくれるんです。結果、思いっきり失敗みたいな時もあるんですけど… でも、ピンチの時はしっかりフォローしてくれる。人が少ない中でも、どうすればできるだろうって、常に前向きに取り組んでいる先輩の姿を見ると「自分も頑張ろう!」って勇気づけられます。だから続けられるんだと思います。

保育士として2年目を迎え、がらりと変わったクラスの雰囲気に戸惑いながらも奮闘されているとのこと。

「子どもたちとは、朝会ったら必ず目を合わせて挨拶してハグしようって決めてるんです。」繰り返していくうちに、子どもたちも自分の事を分かってくてくれたみたいです。





施設見学随時受付中

ご希望の施設を見学してみませんか？

お申し込みは _____

光友会 経営企画部(澤野) まで

電話 0466-48-1500

e-mail: info@lfa.jp

2017年3月 卒業予定者 募集要項

職 種／障害児・者支援、介護職

資 格 等／社会福祉士、介護福祉士、保育士(しいの実学園は必須) 等あれば尚良し。

募集施設等／社会福祉法人 光友会の施設・事業所

採用数等／10名程度(昨年度実績9名)

休 日 等／週休2日。ただし第3土曜日は出勤。1日8時間勤務。休日は第3土曜日を
除く土・日、祝日、および年末年始、夏季休暇あり。(1か月の変形労働時間制)

処 遇 条 件／①月 給(基本給) 大学4年卒219,000- 短大・専門3卒206,000-
短大・専門2卒203,000- 高卒197,000-

*月給は処遇改善手当含む

・賞与年2回計4.0月(前年度実績)

・通勤交通費 月額25,000-以内、その他手当有り

・退職金制度あり

②社会保険 ・労災 ・雇用・健康・厚生年金 加入

③そ の 他 ・福利厚生制度あり

*2017年4月1日に改定予定の内容が記載されています。

応募書類／写真貼付履歴書、学校推薦書、成績表、卒業見込み証明書、健康診断書及び
・論作文 題名「私が光友会で実現したい障害者への支援について」

(800字以内でA4、横書き、様式は自由)

提出期限／2016年8月1日～随時

提出先／〒252-0825 藤沢市瀬郷(オソゴウ) 1008番地の1
(社福) 光友会 総務宛(「職員応募」と封筒に明記のこと)
電話0466-48-1500

選 考／書類審査、面接(書類審査後随時)

結果通知／2週間以内。書面通知

採用時期／2017年4月1日

光友会の概要

- 社会福祉法人光友会は、1977年(昭和52)年に障害者の地域作業所として出発しました。現在では、神奈川県藤沢市内を中心に障害者(児)への支援サービスを行い、神奈川県下の3箇所を拠点に約50の事業を展開しています。
- 基本理念をもとに障害関係者の思いに応える形で取り組み、必要な施設を作って障害者の方にご利用をいただいております。
- 子供から大人までの各種障害福祉サービスをよりよく提供する為に、グローバルな視野に立ち、ヒューマニティな社会福祉形成のサポートを目指しています。
- 時代の要請に応じて、新規事業にも積極的に取り組み、一人でも多くの方々と連携して活動し、活気のある住みよい地域社会の実現に力を注いでまいります。



職員数／常勤職員215名・パート職員142名
決算状況／19億5619.5万円
(2015年度サービス活動収益)

●かながわ障害者雇用優良企業認定

●国家資格・公的資格等の有資格取得者／ 介護福祉士79名、社会福祉士29名、
精神保健福祉士5名、保育士55名、介護支援専門員30名、看護師6名、保健
師5名、作業療法士1名、理学療法士3名、言語聴覚士1名、臨床心理士1名、
手話通訳士1名、管理栄養士2名、鍼灸マッサージ師2名、ほか

事業内容等詳しくはパンフレットまたは
ホームページをご覧ください。

<http://www.lfa.jp/>

光友会

検索



社会福祉法人 光友会

〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008 番地の 1
電話 0466-48-1500

